

2019年8月6日

課題名： 人間ドック受診者を対象とした  
尿路系悪性腫瘍診断における尿沈渣の有用性に関する検討

◆研究の目的と概要◆

当院では、尿沈渣中に検出した異型細胞について精査機関において尿路系悪性腫瘍であったか否かを調べることによって、尿沈渣検査が尿路系悪性腫瘍の早期診断・早期治療に貢献することを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2014年10月から、2017年9月までの間に、総合保健管理センターで尿沈渣検査を実施した受診者

◆研究に使用される情報・試料◆

情報：尿定性検査、尿沈渣検査、尿細胞診、組織診

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

- 
- \* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
  - \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院附属予防医療プラザ

研究責任者 弓狩 加恵

E-mail : kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法  
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明